



健康な体
誠実な心
豊かな知性

しのめ
東雲



尾張旭市立東中学校
学校だより

令和3年度 第7号

読書の秋 スポーツの秋 紅葉の秋 実りの秋 芸術の秋 食欲の秋 勉学の秋……いい季節がやってきました

礼に始まり 礼に終わる



秋の気配がそこかしこに感じられるようになってきました。季節の移り変わりを五感で楽しんでください。夏にあった大きなイベントであるオリンピックやパラリンピック、「甲子園」はもう相当前のことのように感じます。

その「甲子園」の決勝戦、智弁和歌山対智弁学園は、智弁和歌山（県内随一の進学校らしいです）が勝利し優勝……それは記憶に新しいことと思います。いつからか「甲子園」の優勝といえば、試合が終わった瞬間にメンバー全員がマウンドに駆け寄り抱き合い、拳を突き上げ、喜びの声を発して「歓喜の輪」をつくるのが恒例になっていました。



ところが今年の優勝校、智弁和歌山に「歓喜の輪」はありませんでした。その理由について主将の宮坂選手はインタビューで、「相手もいますし、礼に始まって礼で終わるといふことで。礼が終わってから全員で喜ぼうと決めていました」と説明しています。彼らは、勝敗が決した瞬間、共に全力を尽くした敗者智弁学園の選手たちに敬意を払っています。日頃からの監督さんの教えも当然あるとは思いますが、高校生が自分たちで「何を大切にするのか」「何が美しいか」を考え、「礼に始まり礼に終わる」を体現したことに心うたれました。

東京オリンピック 柔道 73kg 級で金メダル 2連覇を果たし「絶対王者」と称される大野将平選手の美しい「礼」が世界中からリスペクトされています。金メダルが決まっても、大野選手は敗れた相手に敬意を示す「礼」として深くと頭を下げます。柔道では立礼が1試合に6回あるそうです。それぞれ一度、立ち止まり、頭を動かさずに背筋を伸ばしてまっすぐ前を向く。かかとをそろえて体を倒す。それを大野選手は完璧に行い、その美しさは日本選手の中でも際立っています。立ち止まってしっかり「礼」をすることで、冷静さを保ち、自らを省みることを重ねてきたことも大野選手の強さにつながっているように思います。



皆さんの学校生活の中にも「礼に始まり礼に終わる」場面は少なくありません。相手のことを慮り（おもんばかり）敬意を払う「礼」、自分にある課題を見つめる「礼」を

習慣化することで、人としての芯の強さが生まれ、生き方も変わってくる……そんなことを思いました。今さらながらですが、「礼」に考え学んだ還暦の夏でした。

（校長）

日常の延長線上にある

9月末まで延長された「緊急事態宣言」による影響が「学校祭」にも。10月7日の体育祭は何とか開催するために種目数を減らし、文化祭は学年毎に。合唱祭の練習も、厳しい制限の中、思うようにできません。それでも、体育の時間での練習や昼休みの大縄跳びの練習などから「絶対にやるんだ」という想いが伝わってきます。

学校祭のようにクラスみんなで目標を一にして取り組む行事は、クラスの力を高める機会でもありますが、4月にスタートした今のクラスがどう成長してきたのか

を表す機会でもあります。クラスでつくり上げてきた「日常」の延長線上にみんなの学校祭はあります。

誰かが困っている時にさっと手を差しのべられる。互いに笑顔であいさつできる。一生懸命に頑張っている子を応援できる。クラスのために、誰かのために自分の力を役立てようとする。給食準備や清掃に手を抜かないなど、クラスの「日常」はまだまだあると思います。そんな「日常」が学校祭に向けての準備や当日に必ず表れてきます。すべてのクラスがこれまで培ってきた力を発揮し、最高の学校祭となること、楽しみにしています。

○「掃除」は「創自」。10分間でできる自分づくり。

○夏の作品募集へのたくさんの応募・出品。期待どおり！

中学校総合体育大会やコンクールで 上位大会に出場した部活動

剣道部 男女 団体戦

愛日大会も突破して県大会へ



地区大会は男子が優勝、女子が準優勝。愛日大会は女子が準優勝、男子が第3位で県大会へ。県大会は、厳しい戦いとなりましたが、次への貴重な経験となりました。

吹奏楽部

東尾張地区大会を突破して県大会へ



地区大会で金賞を受賞し県大会へ。県大会初出場で見事に銀賞を受賞しました。

陸上部

愛日大会を突破した6名、県大会へ



愛日大会 県大会

女子 4 × 100m リレー	優勝	→	第12位
女子 200m	優勝・第2位	→	第8位・第9位
男子 200m	第2位	→	第19位
女子 800m	第3位	→	第13位

卓球部 女子 個人戦

愛日大会・県大会も突破して東海大会へ



地区大会準優勝、愛日大会第3位、県大会ベスト16で東海大会進出。東海大会ではハイレベルな戦いの末、敗れてしまいましたが、さらなるステージへの礎になりました。

他の部活動は地区大会で敗れはしたものの、東中生らしい爽やかな戦いぶりでした。最後まであきらめず、仲間と一緒に全力で戦いました。